

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年7月16日 (2015.7.16)

【公表番号】特表2014-517694(P2014-517694A)

【公表日】平成26年7月24日 (2014.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2014-039

【出願番号】特願2014-512189(P2014-512189)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 31/711 (2006.01)

A 6 1 K 35/34 (2015.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2015.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/711

A 6 1 K 35/34

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/12

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/04

A 6 1 L 27/00

C 1 2 N 5/00 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月28日 (2015.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リボヌクレオチドレダクターゼサブユニットR1をコードする第一の核酸配列を含む第一のウイルスベクター及びリボヌクレオチドレダクターゼサブユニットR2をコードする第二の核酸配列を含む第二のウイルスベクターであって、該第一の核酸配列及び第二の核酸配列が、心臓特異的プロモーターと操作可能に連結されている、ベクターを含む、哺乳動物における心臓機能の改善用医薬組成物。

【請求項 2】

第一及び第二のウイルスベクターがアデノ随伴ウイルスベクターである、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 3】

哺乳動物がヒトである、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 4】

全身投与用である、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 5】

静脈内投与用である、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 6】

心筋内注入用である、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記第一及び第二のウイルスベクターの少なくとも1つが形質導入レポーターをさらに含む、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 8】

第一及び第二のウイルスベクターが同一のベクターである、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 9】

リボヌクレオチドレダクターゼサブユニットR1をコードする第一の核酸配列を含む第一のウイルスベクター及びリボヌクレオチドレダクターゼサブユニットR2をコードする第二の核酸配列を含む第二のウイルスベクターであって、該第一の核酸配列及び第二の核酸配列が、心臓特異的プロモーターと操作可能に連結されている、ベクターを含む、医薬組成物。

【請求項 10】

前記第一及び第二のウイルスベクターが同一である、請求項 9 記載の医薬組成物。

【請求項 11】

L48Qアミノ酸置換を有するcTnC変異体をコードする核酸配列を含むウイルスベクターであって、該cTnC変異体が増加したCa²⁺結合親和性を有する、ベクターを含む医薬組成物。

【請求項 12】

I61Q及びL57Qから選択されるアミノ酸置換を有するcTnC変異体をコードする核酸配列を含むウイルスベクターであって、該cTnC変異体が減少したCa²⁺結合親和性を有する、ベクターを含む医薬組成物。

【請求項 13】

前記ウイルスベクターがアデノ随伴ウイルスベクターである、請求項 11 又は 12 記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記ベクターが、cTnC変異体をコードする核酸配列と操作可能に連結されたCMVプロモーターをさらに含む、請求項 13 記載の医薬組成物。